

セントポーリアの育て方

- 分類** イワタバコ科 セントポーリア属
分布 タンザニア（東アフリカ）
種類 原種：約20種
 交配種：約15,000種うち日本では約2,000品種が栽培されています。

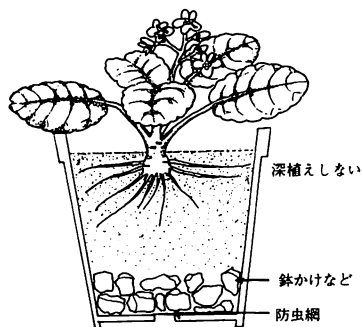
栽培管理の要点

温度

最低7℃以上が必要。18～25℃くらいに保ち夏季は30℃を越えないようなるべく涼しい所で育てます。

日照

直射日光が当たらない明るい日陰が理想的です。一般的には、レースのカーテン越しの明るさが適当です。

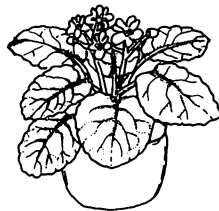


用土例

- セントポーリアの植え方**
 パーミキュライト……………5
 ピートモス……………3
 パーライト……………2
 又はフォーライト



< 暗すぎるとき >
徒長し、開花しない



< 適 当 >



< 明るすぎるとき >
葉焼けを起こし、枯死する

日照と生育

湿度

60～70%

肥料

元肥は施さない方が無難です。かん水のつど、標準希釈倍率よりもさらに4～5倍薄めた液肥を与えます。

水やり

用土が乾いてからたっぷりと与えます。25℃ぐらいの温かい水を葉にかからないよう、株元に静かに注ぎ込みます。

用土

通気性、保水性にすぐれたもので、軽い土が適します。（用土例参照）

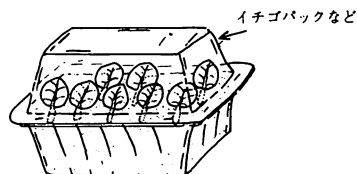
繁殖

元気のよい葉を、葉柄を2～3cmつけて切り、葉柄がほぼ埋まるように斜めにさします。

病害虫

予防第一に考えて、日照不足、乾燥などに気をつけ、花の咲きながら、いたんだ葉などは早めに取り除きます。

月1回、アクテリック、サプロールの1,500倍液を定期的に散布します。散布は、特に新しい葉の裏にかかるように行ないます。



- 用土例…パーミキュライト 8
 パーライト 2

繁殖の方法